

## 育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 面積の単位「 $\text{cm}^2$ 」「 $\text{m}^2$ 」「 $\text{km}^2$ 」「 $\text{a}$ 」「 $\text{ha}$ 」とその関係や、長方形と正方形の求積公式について理解し、公式を用いて面積を求めたりすることができる。
- (思・判・表) 単位の考え方をういたり、図形の構成要素に着目したりして、面積の表し方や複合図形の求積方法、単位の関係について考え、説明することができる。
- (学びに向かう力) 面積を数値化して表すよさに気づき、生活や学習に生かそうとしたり、複合図形の面積の求め方について、多面的に考え、より良い方法を追究しようとする。

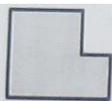
## ICT活用のポイント

一人一台端末を活用し、考え方の共有方法を工夫することにより、学びを広げたり深めたりできる授業

## 【学習課題の把握】

本時の課題を把握し、学習の見通しをもつ

図の面積を求めましょう



## 【課題の追究】

図形を変形し、今までの学習内容が活用できるか考察し、表現する

## 【本時のまとめ】

複合図形の求積方法を図や式、言葉を用いて説明する

## 事例の概要

- 学習課題に対し、既習事項を活用するために、図形の変形について考え、写真で撮影し、学習支援ソフトを通して提出し、全体で共有しながら解決の見通しをもつ。
  - 複合図形をそれぞれの方法で分けて、面積を求める。提出された図形をもとに、課題解決の方法について、児童の説明をもとに比較検討する。
- 【事例におけるICT活用の場面①】
- 課題を一人一台端末に送付し、既習事項を活用するために、どのような図形の変形ができるか、各自で考えた。その内容を写真で撮影し、学習支援ソフトを通して提出、その内容を全体共有し、解決への見通しをもった。
- 【事例におけるICT活用の場面②】
- 課題解決の場面において、学習支援ソフトを通して提出された図形をもとに、児童に説明させた。また、本時の学習についてまとめた後、適用問題として、別の複合図形を一人一台端末に送付し、各自で取り組んだ。

# 【算数・小4・面積「複合図形の面積を求めよう」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



本時の複合図形の求積において、課題となる図形を一人一台端末に送付した。その図形について既習事項を活用するために、どのように変形ができるか、線を引く、印をつけるなどして各自で考えた。その内容を写真で撮影し、学習支援ソフトを通して提出させた。全体共有し、課題解決への見通しをもつことができた。

自分の考えと同じことを確認できたことで、その後の課題解決において、意欲的に取り組んでいた。また、違う考え方について、「なるほど」という発言が出て、考えが広がる様子も見られた。

## 【活用したソフトや機能】

- 学習支援ソフト
- カメラ

## 【事例におけるICT活用の場面②】



(写真1)

(写真2)

図形の変形について、全体共有した後に、図形の長さを伝え、複合図形の面積を求めた。その際に、変形した図形について、それぞれ提出されたものを提示し、課題解決について複数の児童に説明させ、理解を深めていた。(写真1)

また、課題解決の方法について、黒板に掲示し、比較検討を行った。(写真2)

本時のまとめを行った後に、適用問題として別の複合図形を一人一台端末に送付し、各自で取り組み、本時の学習を振り返っていた。